



業種：オフィスサポート業務
ヘルスキープングサービス
会社概要：富士通株式会社 特例子会社
設立：2013年12月2日
資本金：1,000万円
代表者：代表取締役社長 深沢 孝一
社員数：280名（2024年4月現在）
所在地：川崎市中原区下小田中
2-12-5
ホームページ：
<https://www.fujitsu.com/jp/group/fhm/>

会社のPR情報

当社は、富士通グループのパーパスに基づき、障がいのあるより多くの方に働きやすい職場を継続的に提供していくため、富士通株式会社100%出資で設立されました。

当社では、個々の障がい特性に配慮した働きやすい職場環境を整え、オフィスサポート業務とヘルスキープング業務を中心に、多くの方が活躍しています。

会社からのメッセージ

当社は、一人ひとりが持ち味を発揮して社会に貢献し、働く幸せを実感できる企業をめざしており、以下の3つを企業理念とし大切にしています。

- ・「元気」一人ひとりが仕事に誇りとやりがいを持ち、元気に明るく働く企業
- ・「チーム」お互いに助け合いお客様から信頼される品質とサービスを提供
- ・「未来」個々の成長や自立をサポートし、社会の一員として活躍できる未来をつくり、安定的で継続的な雇用に貢献すること

障害者雇用への取組の成果（認定に当たっての評価ポイント）

数的側面

雇用状況	実雇用率	105.77%
	障害者不足数	0人
定着状況	過去3年間に採用した障害者の就職6か月後定着率	100%
	過去3年間に採用した障害者の就職1年後定着率	97.7%

障害者雇用への取組の成果 (認定に当たったの評価ポイント)

質的側面

満足度・エンゲージメント	<ul style="list-style-type: none">◆ ジョブスタッフ（知的障がい者）を対象に、ストレスチェックと合わせて、満足度とワークエンゲージメントに関する調査を複数回実施しており、直近3回の調査において8割以上から肯定的な回答を得ている。 2021年度 83% 2022年度 86% 2023年度 85%
キャリア形成	<ul style="list-style-type: none">◆ 3年以上前から雇用している障がいのある社員163名の平均年収が0.5割以上上昇している。 上昇率109.1%◆ 有期契約社員から正規従業員への切り替えを実施 〈実績〉 2022年度 16名 2023年度 13名 2024年度 17名

体制づくり

組織面	<ul style="list-style-type: none">◆ 親会社の総務および労政の幹部と、当社社長、役員で開催する定例ミーティングを月1回と、当社社長、役員、管理職のメンバーで業務報告会を月2回実施し、障がい者の雇用情報について共有している。◆ 精神および身体に障がいのある従業員がジョブコーチの補佐として、知的障がいがあるジョブスタッフと一緒に業務を行い、常にきめ細かな業務支援を行っている。◆ 基本的にジョブスタッフ（知的障がい者）5名に対して、障害者職業生活相談員のジョブコーチを1名を配置し、日常的に業務指導を行っている。
-----	--

障害者雇用への取組の成果 (認定に当たったの評価ポイント)

体制づくり

人材面

- ◆ NPO法人障害者雇用部会が開催した「2023年度 新任指導員研修会」に3名、「2023年度中堅指導員研修会」に1名のジョブコーチを研修受講で派遣した。
- ◆ 就労移行支援事業所の職員を講師に招き、社内ジョブコーチ向け研修会を開催した。
- ◆ NPO法人障害者雇用部会が主催している企業見学会へ、4名の社員を参加させた。

仕事づくり

事業創出

- ◆ 2023年4月1日～2024年3月31日の決算において、経常利益が黒字である。
- ◆ 2019年度に開始した親会社の営業契約書類のe-文書法対応の業務を、現在も主力事業として継続している。

職務選定・創出

- ◆ 親会社の各事業所に設置されているコーヒーサーバーのメンテナンス作業を、マニュアル作成やチェックシートを活用し、また繰り返しのトレーニングにより、新たな業務として創出し、当社の各事業所に展開中。合わせて、大量に出るコーヒー粕や廃棄していたフィルターの残り紙の再利用による消臭剤を作成する新たな作業も創出した。

障害者雇用への取組の成果 (認定に当たっての評価ポイント)

環境づくり

職務環境

- ◆ 視覚障がいがあるヘルスキーパーが使用するPCには、必要に応じて、PC-Talker（読み上げソフト）やZoomtext（画面拡大鏡）をインストールしている。
- ◆ 知的障がいのあるジョブスタッフにはレイアウトを工夫するなどの対応をしている。
- ◆ マニュアルの作成や、作業手順をやって見せ、繰り返しの指導などを実施している。
- ◆ 毎年健康診断実施後に保健師によるフィードバックの個人面談を実施している。
- ◆ 毎年社長賞表彰を実施し、賞状と賞金を授与している。
- ◆ 新人歓迎会やクリスマスなどの余暇イベントを実施し、一部費用補助をしている。

募集・採用

- ◆ 2023年度（2023年4月1日～2024年3月31日）に、特別支援学校や就労移行事業所より、延べ115名の実習生を延べ778日間受け入れた。
- ◆ 社内のジョブコーチ向けに開催した研修会で、就労移行支援事業所へ訪問し、障がい者への指導方法などの取り組みについて見学した。
- ◆ 2022年3月に「もにす認定企業」の取り組みに興味がある企業からの連絡を受けて、事業所見学を受け入れた。
- ◆ 毎年、企業、支援機関、特別支援学校の見学を多数受け入れている。

障害者雇用への取組の成果 (認定に当たったの評価ポイント)

環境づくり

募集・採用

- ◆ 2022年9月に、代表がNPO法人障害者雇用部会定例会のシンポジウムでパネラーを務めた。
- ◆ 2024年2月に、代表が一般社団法人障害者雇用企業支援協会(SACEC)主催の「第33回全国障害者特例子会社連絡会」のシンポジウムで司会とシンポジストを務めた。

働き方

- ◆ ジョブスタッフ（知的障がい者）とヘルスキーパー（視覚障がい者）は、通勤混雑の時間帯を避けるため就業時間を短く設定している。
- ◆ 積立休暇の制度を整備しており、活用実績がある。（就業規則に記載あり：私傷病の療養等を目的として取得できる制度）
- ◆ 休職制度を整備しており、活用実績がある。（就業規則に記載あり）
- ◆ 休職者の職場復帰に向けては、職場復帰プランが策定されており、主治医、所属長、人事部門、産業医が連携し、面談や話し合い、健康診断を行い判定をしている。また復職後のサポート等も行っている。

キャリア形成

- ◆ ジョブスタッフの賞与の評価基準が設定されている。

その他の 雇用管理

- ◆ 2024年3月に個人面談を行うため、手話通訳を手配した。
- ◆ 2024年4月に入社したジョブスタッフに対して、社内規定ではバス定期券代支給対象外の区間に、障がい特性に配慮して、バス定期券代を支給している。
- ◆ 学校、または就労援助センターとは、平時より連携できる関係を構築していて、定期的な面談を実施している。